

でんさい利用企業からの事例紹介

 関東建設工業株式会社

2017年5月29日

目次

1. 企業概要
2. 事業紹介
3. でんさい導入前の支払方法
4. でんさい導入の理由
5. でんさい本格稼働に向けての取組み
6. でんさい導入による効果
7. 良かった点
8. 苦労した点と対応
9. 最後に

1.企業概要

- 商号 関東建設工業株式会社
- 本社住所 群馬県太田市飯田町1547
OTAスクエアビル7F
- URL <http://www.kanto-k.co.jp/>
- 事業内容 総合建設業
- 代表者 代表取締役社長 高橋 明
- 売上高 620億円（平成27年度実績）
- 従業員数 285名
- 支社等 国内10か所、海外3か所



（本社ビル）

2.事業紹介

群馬県農業技術センター



第55回BCS賞・平成26年伊勢崎景観まちづくり賞を受賞

太田市民会館

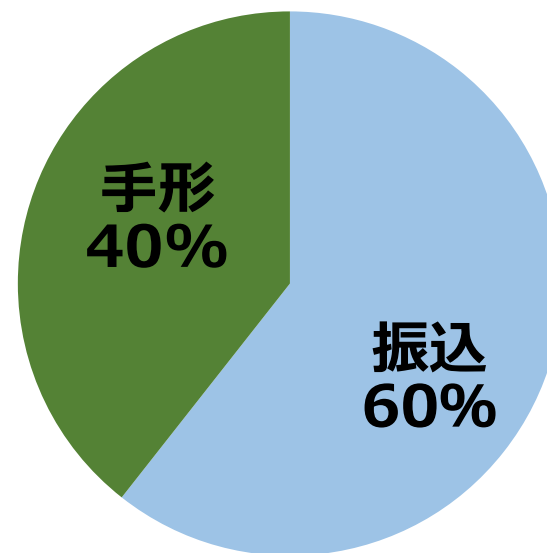


3.でんさい導入前の支払方法

- 銀行振込による支払件数 60%
- 約束手形による支払件数 40% (約260先)

1 か月あたりの支払件数

- 振込 400件
- 手形 260件



印紙代 年間約 400万円
手形帳購入費 年間約 27万円

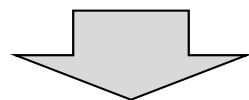
年間の手形発行作業に係る人件費

1人×5日間×@ ¥20,000×12か月 = 120万円
(チェック、発行、押印、郵送など)

4. でんさい導入の理由

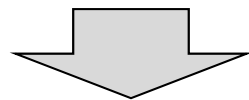
以前より得意先からの「でんさい」受取実績があり、
電子的処理の利便性は認知していた。

平成28年10月に本社移転の計画があり、
手形集金の来社対応時のセキュリティが検討課題となった。



「でんさい」に切り替えれば・・・

来社対応が不要となり、
さらにコスト削減が可能になる？



「でんさい」の導入を検討！

5. でんさい本格稼働に向けての取組み（スケジュール）

	27年 10月	28年 2月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	
社内勉強会 (総務経理部内)	★	金融機関を招いて勉強会（27年10月）														
		★	コスト等の試算（28年2月）													
社内決定			★	社内決定（28年4月）												
案内状送付																
IB初期設定																
でんさい支払開始																
システム改修																

本格稼働

5. でんさい本格稼働に向けての取組み（検討・準備）

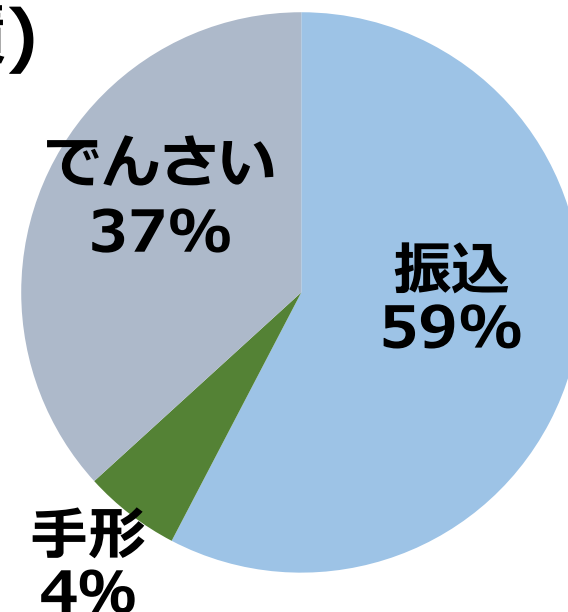
- 金融機関を招いて「でんさい」の基本的な知識を勉強
- 金融機関のHP内で提供されている体験版を利用し、実際の操作方法を体験
 - ⇒ 「でんさい」の知識・操作方法を総務経理部内で認識共有
- 導入によって発生するメリット・デメリットを整理
 - ⇒ コスト試算、事務・決済合理化できる点を整理。特に支払条件やでんさいによって新たに発生するコスト等を整理。
- 支払業務フローの検討、変更
 - ⇒ 支払通知書、会計システムの変更
(利用者番号・でんさい支払項目の追加、勘定科目・自動仕訳追加)

6. でんさい導入による効果

- 銀行振込による支払件数 59%
- 約束手形による支払件数 4%
- でんさいによる支払件数 37%

1 か月あたりの支払件数(平成28年11月実績)

■ 振込	320件
■ 手形	31件
■ でんさい	204件



印紙代年間 約 40万円 **▲360万円削減**
手形帳購入費 約 3万円 **▲24万円削減**

年間の手形発行作業に係る人件費

1人×1日間×@ ¥20,000×12か月 = 24万円 **▲96万円削減**

7.良かった点

- **手形集金日の来社対応がなくなった**
⇒セキュリティが高まり、また、業務量も減った
- 手形作業時間が大幅に減り、**本来の業務（経理）に専念**できる
⇒特に気を使う押印、封入作業等の誤作業の確認点検作業が
減った
- 当初の見込みどおり、経費削減ができた（**特に印紙代**）
⇒**業績に貢献！**
- 取立忘れ、紛失の対応が減った
⇒予定外の業務の発生を抑制できた

8.苦勞した点と対応

- **でんさいの操作方法・専門用語に戸惑ったほか、金融機関ごとの入力画面・帳票類・操作可能時間帯の違いに苦慮した**
(対応) 銀行のコールセンターを利用したり、でんさいネットのウェブサイトで一つ一つ確認して解消
- **取引先からの問い合わせ対応**
金融機関担当者から「詳しいことは分からない」という回答があったという問い合わせも…
- **取引先登録情報の入力**
- **1件1件の操作(仮登録・承認)が思っていたよりも大変**
(対応) 一括請求できるように会計システムを改修して解消

9.最後に

- 総論

でんさいに切り替えたことにより、**事務効率化、コスト削減を、はっきりと実感できています。**

- 今後の課題

- ✓ 手形での支払先がまだあるので案内を継続していく
- ✓ 手形支払先以外への支払いにも活用を検討していく

- でんさいの導入を検討している皆さまに伝えたいこと

- ✓ 金融機関毎に手数料が違う
- ✓ 「でんさい」は、支払側からではなく、受取側から始めるのがより簡単でスムーズな取り運びとなる

ご清聴ありがとうございました。

 関東建設工業株式会社